

# のだネット通信



**中核地域生活支援センターのだネット**（千葉県委託事業・野田健康福祉圏域）

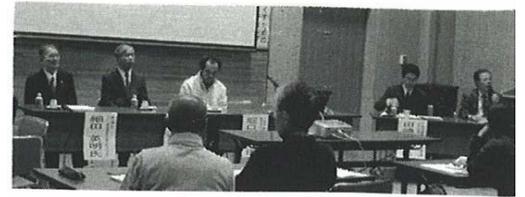
TEL 04-7127-5366/FAX 04-7127-5367（12月27日より変わります）

〒270-0235 野田市尾崎840-32/E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com

## 障害者差別をなくすためのミニタウンミーティング開催！

★ 11月6日（日）野田市南部梅郷公民館に53名の参加者でミニタウンミーティングが開催されました。

★ 初めに千葉県障害福祉課の田崎勇太氏より、県民から「差別に当たると思われる事例」の募集をしたところ700件も寄せられたこと、研究会を設置し寄せられた事例をもとに、「差別とは何か？」「どうしたらなくせるのか？」等を検討してきた経過や今後は差別禁止条例の条文がイメージできるレベルまで、各分野における差別をなくすための取り組みや解決のための仕組み等について検討していくと報告がありました。この報告が一つのきっかけとなって、この問題に対する県民の関心が高まり、幅広い議論が起ることを期待していると話されました。



★ シンポジウムでは（福）愛光専務理事であり、研究会副座長でもある高梨憲司氏により自身の体験を含めたお話や、スウェーデンでは「手帳」ではなくその時の障害の状況によってサービスが決まる方法等、外国の例を交えながらのお話でした。

国立精神・神経センター精神保健研究所で家族・地域研究室長をされ、研究会では医療・福祉分野を担当されている堀口寿広氏より、医療分野での関係者（医師・看護師等）の無知・無理解によって起こる差別の問題や、県が発行している「受診サポート手帳」で注意してほしい点を事前に伝えることで診察がスムーズになることを説明されました。

医療での差別については会場からも車椅子の方が産院を探している時に断られた事や、情報がなかった等切実な発言もありました。

野田市在住の弁護士で、松戸人権擁護委員協議会野田部会長でもある細田英明氏より、日頃の人権擁護活動について、野田市役所で人権相談を受けているお話や、思いやりを育てるために中学生に人権についての講演会を開いている等のお話を頂きました。

さらに田崎氏から「障害者自ら『暮らしにくさ』や思いを積極的に周囲に伝える必要がある」との研究会の中間報告が述べられました。

★ 会場との意見交換では当事者の方から「障害者自身が理解してもらおうとする努力が必要なのではないか。当事者での会合を開いても良いのではないかと」の提言や「講演会を開く時には、手話通訳・要約筆記・磁気ループがあることをチラシに明記する等の広報を是非お願いしたい」と意見があり、今後は配慮していきたいと思えます。



連絡先 ☎043-223-2340

千葉県健康福祉部障害福祉課



くすのき苑でボランティア体験をした彩さんが弁論大会で「金賞」を受賞しました。うれしいニュースです！寒い冬に心温まる作文をどうぞ…。



## 「夏休みのボランティア」

木間ヶ瀬中 1年 藤枝 彩

私は夏休みに入る前から、夏休みの期間のボランティアを企画してました。私の母もボランティアをしていて、母のいきいきとした姿を見て私も人の役に立ちたいと思い、母に頼み関宿のくすのき苑と言う施設でさせてもらうことにしました。誰かと一緒に行けたらいいなと思いクラスメートを誘ったら快くひきうけてくれ2人で行くことになりました。

ボランティア1日目は、10時から15時まででした。その日は友達が部活だったために、一人で行くことになりました。私の妹が通っている養護学校には何度か行った事があるので、あまり不安はありませんでした。

当日、10時に到着するとすぐに係りの人が説明しながら色々説明してくれました。お手伝い内容は、利用者さんの部屋の掃除、整頓、廊下のモップ掛け、ソファの消毒などがありました。それらを夢中でやっているうちにお昼になりました。お昼ごはんは、施設の人みんなで、食堂で食べました。食べていたら急に、右斜めの女性の利用者さんに「指出して。」と言われました。その人は手作りの指輪を私の指にはめて「さっき作ったんだよ。あげる。」と言いました。私はその利用者さんの真心がとても嬉しくて、思わず涙してしまいそうになりました。母がボランティアを頑張っている理由が少しわかったような気がしました。あっという間に帰る時間になってしまいましたが、帰ろうとしたら、何人かの利用者さんが、「また来てね。」と言ってくれました。私は笑って「はい。」と言って帰りました。

家に帰ってから母にその日のことを伝えると、「頑張ったね。」と褒めてくれました。そしてその後今度は友達と行きました。2日間とも良い思い出になりました。

ボランティアと言うと、「よくそんなことしてあげられるね。」と言う人がいます。でもそれは間違っていると思います。私に例えて言うと、確かに私は仕事を頑張ったと思います。でも、その仕事以上にたくさんの事を学ばせてもらったのです。そして何よりも、こんな自分でも人の役に立つことができると自信がつくのです。この自信は次のステップに挑戦する勇気にもなります。ボランティアはお互いのためにもなるのです。

私は中学生なので、勉強も忙しいけれど、毎年夏休みにはボランティアをしていきたいと思います。2年生になると職場体験もあるので、福祉の仕事にも目を向けて行きたいと思います。そして将来はどんな形でもいいから、障害を持っている方たちのお手伝いができる仕事に就きたいです。



## 在宅緩和ケアネットワーク運営事業連絡調整会議へ参加

県下のがんによる死亡率は年々増加傾向にあり、県民の健康政策上極めて重要な課題となっています。「在宅緩和ケアネットワーク」とは、がんに対する知識の普及や早期発見を推進するとともに、末期がん等により治療の見込めないがん患者が在宅で療養を望む場合に、地域関係機関が役割分担と連携するため、健康福祉センターが実施し、一部を訪問看護ステーションに委託できる事業です。（委託事業所）

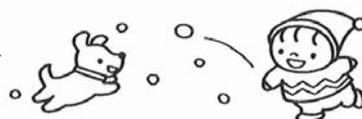
10月17日（月）野田健康福祉センターが「在宅緩和ケアネットワーク運営事業」実施にあたり連絡調整会議を開催しました。医師会、病院、訪問看護ステーション、居宅介護サービス事業者、保健センター、中核センターの担当者が出席し、委託事業所の実施報告に基づき、問題点及び課題を整理し、事業評価を行い今後のネットワーク構築に向け協議しました。

## 第1回 のだネット運営委員会を開催



平成17年11月8日（火）野田健康福祉センターにて運営委員会が開かれました。お忙しい中、市役所・社会福祉協議会・福祉施設当事者団体等より8名の委員の方々に集まって頂きました。のだネットの事業説明、活動報告の後、委員の皆さんより24時間365日体制のあり方や行政との連携の強化など沢山の貴重な御意見を頂くことができました。

## 子育て応援講座に参加



11月12日（土）子育てネットワークゆっくっく主催の「生きる力と生活リズム」をテーマにした講演会に参加しました。前橋明先生より、野田市内の子供を対象にした「子供の生活実態アンケート」の結果を見ながら睡眠が日中の活動にどう影響するか等講義を受けました。その日はNPO法人ゆう&みいさんやありんこ♪くらぶさんも協賛されておりネットワークの強さを感じました。中核センターとしても連携を深めていきたいと思っております。

## 地域医療・在宅医療の充実支援事業に取り組みます！



重症心身障害児（者）の方が長期にわたり日常的に必要な医療的ケアに対するノウハウを地域に定着させ、地域医療・在宅医療の充実を図ることを目的に県が社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団に委託して、地域の職員に在宅障害者の訪問支援の方法や技能の研修等を提供する事業です。

野田の地域でも実施して欲しいと、のだネットで応募していたところ11月14日に実施が決定されました。支援の仕方を学び、一人でも多くの方が安心して地域で生活するためのネットワーク作りの構築に取り組んでいきたいと考えています。

## 地域ケア（全体）会議への参加

11月16日（水）市役所にて、野田在宅支援センターの呼びかけで、市内の在宅介護支援センターの職員が集まり事例検討や各機関の情報交換を行ないました。事例検討では色々な角度から意見を出し検討していきましたが、一つの機関では解決できない問題が多いと感じました。

## 自閉症・発達障害者を持つ子供の子育てのヒントと支援



11月24日（木）野田市総合福祉会館にて自閉症・発達障害者を持つ子供の子育てのヒントと支援のセミナーが行なわれ、のだネットの所長の山本が講師を務めました。

座談会形式で参加者一人ひとりが現在の状況と日々悩んでいることを話し合うことが出来た貴重な時間となりました。講師からは「目標を決めてそれには今何が必要かを考える」トップダウンの考え方や対応の方法など聞くことができました。

## 中核地域生活支援センター評価専門部会



中核地域生活支援センター事業が実施されて1年を経過したことに伴い、これまでの活動を振り返り今後の更なる発展のため11月28日（月）に評価専門部会が開かれます。

### 社会福祉法人「はーとふる」 の設立認可！

野田市船形に知的障害者更生施設（通所）「ひばり」（定員30名）が開設されます。  
現在準備中です。

### 知的障害者グループホーム オープン

「かりんず」定員 4名  
ご利用者様のご都合に合わせて  
ご利用いただけます。  
お問い合わせ（担当：山下）  
電話 04-7127-8225



## 編集後記

全国精神障害者家族大会へ行ってきました。ACTモデル事業の実践報告の分科会に参加したのですが、費用がかかるから現実的でない等のマイナス発言が多い中「これは必要なものだから、必要だと声をあげて、まずやってみることが大切だ」と家族の方が訴えられたのが印象的で心が動かされました。（五十嵐）

## ★12月末より「のだネット」が移転します！

東武野田線「川間駅」北口より徒歩3分です。是非お立ち寄りください。

住所：野田市尾崎840-32 電話：04-7127-5366 FAX：04-7127-5367

スタッフ：山本進、金城和子、五十嵐孝子、西野美喜子